



Red Hat Virtualization 4.0

管理ポータルの概要

管理ポータルへのアクセスおよび使用

Red Hat Virtualization Documentation Team

Red Hat Virtualization 4.0 管理ポータルの概要

管理ポータルへのアクセスおよび使用

Red Hat Virtualization Documentation Team
Red Hat Customer Content Services
rhev-docs@redhat.com

法律上の通知

Copyright © 2016 Red Hat.

This document is licensed by Red Hat under the [Creative Commons Attribution-ShareAlike 3.0 Unported License](https://creativecommons.org/licenses/by-sa/3.0/). If you distribute this document, or a modified version of it, you must provide attribution to Red Hat, Inc. and provide a link to the original. If the document is modified, all Red Hat trademarks must be removed.

Red Hat, as the licensor of this document, waives the right to enforce, and agrees not to assert, Section 4d of CC-BY-SA to the fullest extent permitted by applicable law.

Red Hat, Red Hat Enterprise Linux, the Shadowman logo, JBoss, OpenShift, Fedora, the Infinity logo, and RHCE are trademarks of Red Hat, Inc., registered in the United States and other countries.

Linux ® is the registered trademark of Linus Torvalds in the United States and other countries.

Java ® is a registered trademark of Oracle and/or its affiliates.

XFS ® is a trademark of Silicon Graphics International Corp. or its subsidiaries in the United States and/or other countries.

MySQL ® is a registered trademark of MySQL AB in the United States, the European Union and other countries.

Node.js ® is an official trademark of Joyent. Red Hat Software Collections is not formally related to or endorsed by the official Joyent Node.js open source or commercial project.

The OpenStack ® Word Mark and OpenStack logo are either registered trademarks/service marks or trademarks/service marks of the OpenStack Foundation, in the United States and other countries and are used with the OpenStack Foundation's permission. We are not affiliated with, endorsed or sponsored by the OpenStack Foundation, or the OpenStack community.

All other trademarks are the property of their respective owners.

概要

本ガイドは、Red Hat Virtualization 管理ポータルの使用方法について説明します。

目次

第1章 管理ポータルの使用	2
1.1. ブラウザーおよびクライアントの要件	2
1.2. グラフィカルユーザーインターフェースの構成要素	2
1.3. ツリーモードとフラットモード	4
1.4. ガイド機能の使用	6
1.5. Red Hat Virtualization での検索	6
1.6. ブックマークとしてクエリー文字列を保存する手順	6

第1章 管理ポータルの使用

1.1. ブラウザーおよびクライアントの要件

管理ポータルとユーザーポータルは、以下のブラウザーバージョンとオペレーティングシステムを使用してアクセスすることができます。ブラウザーのサポートは下記のように階層に分かれます。

- ※ 階層 1: 全面的に検証済みで、完全にサポートされているブラウザーとオペレーティングシステムの組み合わせ。この階層のブラウザーで問題が発生した場合には、Red Hat のエンジニアリングチームが修正に取り組みます。
- ※ 階層 2: 部分的に検証済みで、正常に機能する可能性の高いブラウザーとオペレーティングシステムの組み合わせ。この階層のサポートは限定されます。Red Hat のエンジニアリングチームは、この階層のブラウザーで問題が発生した場合には、修正を試みます。
- ※ 階層 3: 未検証ですが、正常に機能することが予想されるブラウザーとオペレーティングシステムの組み合わせ。この階層には、最小限のサポートが提供されます。Red Hat のエンジニアリングチームは、この階層のブラウザーにはマイナーな問題のみの修正を試みます。

仮想マシンコンソールは、Red Hat Enterprise Linux マシンおよび Windows マシンでサポートされているリモートビューアー (*virt-viewer*) クライアントを使用した場合にのみアクセスすることができます。OS X などの他のオペレーティングシステム上での SPICE コンソールのアクセスは、サポート対象外の SPICE HTML5 ブラウザークライアントを介する場合のみ利用可能です。

サポートされている QXL ドライバーは、Red Hat Enterprise Linux マシンおよび Windows 7 マシンで利用できます。

表1.1 ブラウザーの要件

サポート階層	オペレーティングシステムファミリー	ブラウザー	ポータルアクセス
階層 1	Red Hat Enterprise Linux	Mozilla Firefox 延長サポート版 (ESR) のバージョン	管理ポータルおよびユーザーポータル
階層 2	Windows	Internet Explorer 10 以降	管理ポータルおよびユーザーポータル
	すべて	Google Chrome または Mozilla Firefox の最新バージョン	管理ポータルおよびユーザーポータル
階層 3	すべて	Google Chrome または Mozilla Firefox の旧バージョン	管理ポータルおよびユーザーポータル
	すべて	その他のブラウザー	管理ポータルおよびユーザーポータル

1.2. グラフィカルユーザーインターフェースの構成要素

Red Hat Virtualization はコンテキストペインとメニューで構成されており、ツリーとフラットの 2 つのモードで 사용할 ことができます。ツリーモードでは、データセンターのオブジェクト階層をブラウズすることができ、フラットモードでは全データセンターのすべてのリソースが単一のリストで表示されます。

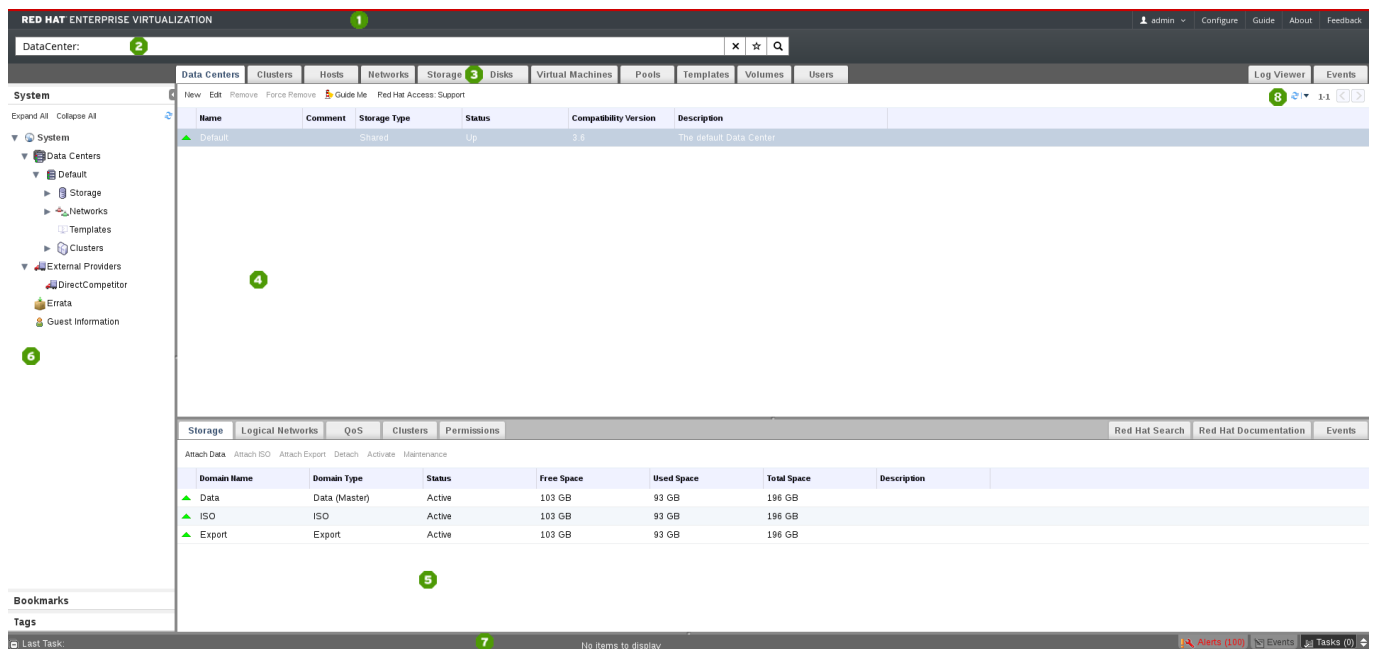


図1.1 グラフィカルユーザーインターフェースの主要構成要素

グラフィカルユーザーインターフェースの主要構成要素

1 ヘッダー

ヘッダーバーには、現在ログイン中のユーザー名、サインアウト ボタン、バージョン情報 ボタン、設定 ボタン、ガイド ボタンがあります。バージョン情報 には Red Hat Virtualization のバージョンに関する情報が表示され、設定 ボタンをクリックすると、ユーザーロールを設定することができます。また、ガイド ボタンをクリックすると、[『Red Hat Virtualization 管理ガイド』](#)へのショートカットが提供されます。

2 検索バー

検索バーを使用すると、クエリーを構築して、Red Hat Virtualization 環境内のホストやクラスターなどのリソースを検索することができます。システム内の全ホストの一覧のような単純なクエリーや、特定の条件に一致するリソースの一覧のような、より複雑なクエリーを使用することができます。検索クエリーの一部を入力すると、検索構築に役立つ選択肢が提供されます。星印のアイコンは、検索をブックマークとして保存する際に使用することができます。

3 リソースタブ

すべてのリソースは、対応するタブで管理することができます。また、イベント タブでは、各リソースのイベントを表示することができます。管理ポータルで提供されるタブには、ダッシュボード、データセンター、クラスター、ホスト、ネットワーク、ストレージ、ディスク、仮想マシン、プール、テンプレート、ボリューム、ユーザー および イベント があります。

4 結果一覧

結果一覧に表示される、単一、複数、またはすべての項目に対してタスクを実行することができます。項目 (複数可) を選択し、適切なアクションボタンをクリックしてください。選択した項目に関する情報が詳細ペインに表示されます。

5 詳細ペイン

詳細ペインには、結果一覧で選択した項目の詳細情報が表示されます。項目が何も選択されていない場合には、このペインは表示されません。複数の項目を選択した場合は、詳細ペインには最初に選択した項目の情報のみが表示されます。

※ 6 システム/ブックマーク/タグのペイン

システムペインには、ナビゲート可能なリソースの階層が表示されます。ブックマークは、頻繁に使う検索や複雑な検索を繰り返し使用するために利用します。ブックマークは、追加、編集、削除することができます。タグは、リソースのグループに適用して、そのタグに関連付けられたすべてリソースを検索するのに使用します。システム/ブックマーク/タグのペインは、このパネルの右上の矢印で最小化することができます。

※ 7 警告/イベントのペイン

警告 タブは、エラーや警告など重大度の高いイベントをすべて表示します。イベント タブは全リソースに関するイベントの一覧を表示します。タスク タブは現在実行中のタスクを表示します。最大化/最小化ボタンをクリックすることで、このペインを表示することができます。

※ 8 更新間隔

更新間隔のドロップダウンメニューにより、管理ポータルが最新の情報に更新する間隔を秒単位で設定することができます。ユーザーが操作を実行してからその結果がポータルに表示されるまでの時間の遅れを避けるために、ポータルは、選択した更新間隔に関わらず、アクションやイベントが発生するたびに自動的にリフレッシュされます。更新間隔は、ポータルの右上にあるリフレッシュのシンボルをクリックすると設定することができます。

1.3. ツリーモードとフラットモード

管理ポータルには、リソース管理用にツリーとフラットの2つの異なるモードがあります。ツリーモードでは、最上位にはデータセンター、最下位には個々の仮想マシンという階層ビューで、データセンターごとのリソースが表示されます。大部分の操作はツリーモードで行うことを強く推奨します。

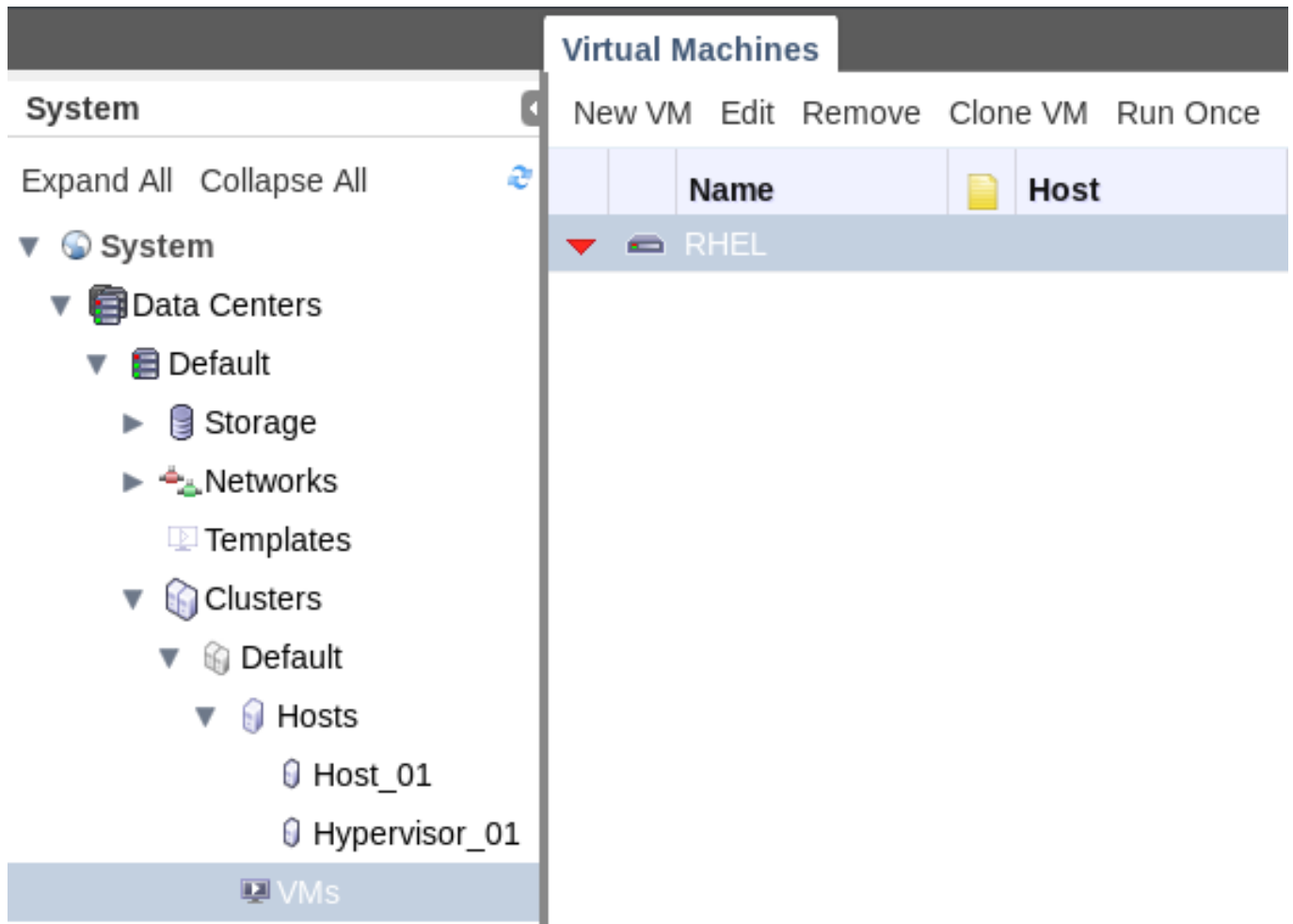


図1.2 ツリーモード

フラットモードでは、複数のデータセンター間またはストレージドメイン間での検索が可能で、単一階層のリソース表示に限定されません。たとえば、フラットモードでは、複数のクラスターやデータセンター全体で、CPU の使用率が 80% 以上の仮想マシンを検索したり、使用率が最高の状態となっている仮想マシンをすべて特定したりすることができます。また、**プール** や **ユーザー** など、オブジェクトによってはデータセンターの階層内に配置されていないため、フラットモードでなければアクセスできません。

フラットモードにアクセスするには、画面左側の **ツリー** ペインにある **システム** をクリックします。**プール** と **ユーザー** リソースタブが表示されていれば、フラットモードに入っています。

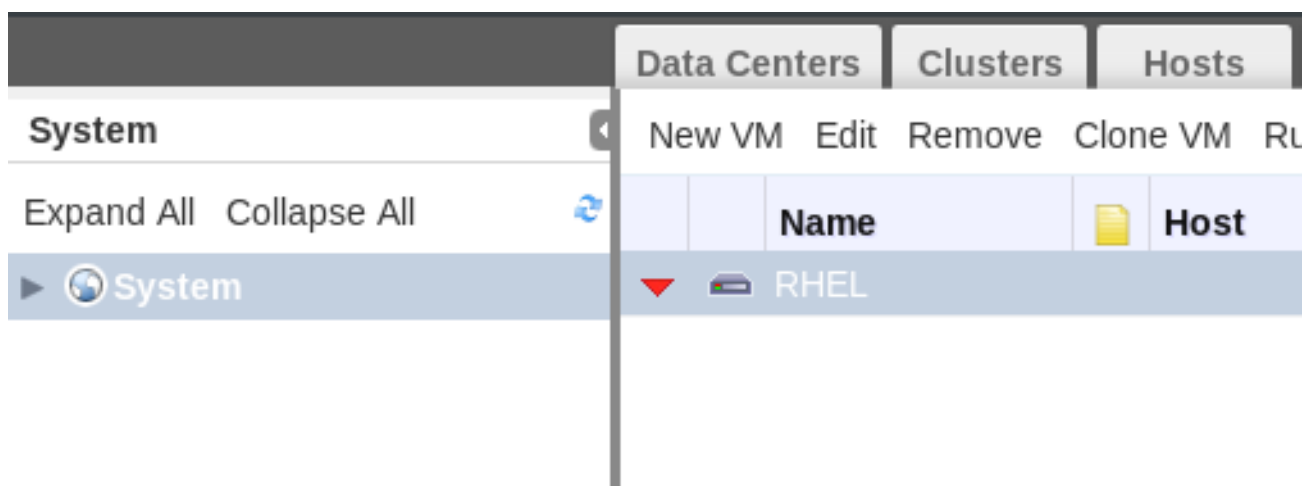


図1.3 フラットモード

1.4. ガイド機能の使用

データセンターやクラスターなどのリソースを設定する際には、複数のタスクを順番に完了する必要があります。状況依存の **Guide Me** ウィンドウは、設定中のリソースに適したアクションを促します。リソースツールバーの **Guide Me** ボタンをクリックすると、**ガイド** ウィンドウに随時アクセスすることができます。



図1.4 新規データセンター - ガイドウィンドウ

1.5. Red Hat Virtualization での検索

管理ポータルでは、仮想マシン、ホスト、ユーザーなど、数千におよぶリソースの管理ができます。検索を行うには、検索クエリー (フリーテキストまたは構文ベース) を検索バーに入力します。特定の検索結果が必要な場合に検索クエリーを毎回入力しなくても済むように、検索クエリーをブックマークとして保存しておいて、後で使用することができます。検索では、大文字と小文字が区別されます。

1.6. ブックマークとしてクエリー文字列を保存する手順

ブックマークを使用すると、検索クエリーを保存したり、他のユーザーと共有したりすることができます。

手順1.1 ブックマークとしてクエリー文字列を保存する手順

1. 検索バーに必要な検索クエリーを入力し、検索を行います。
2. 検索バーの右側にある、星型の **ブックマーク** ボタンをクリックし、**新規ブックマーク** を開きま

す。

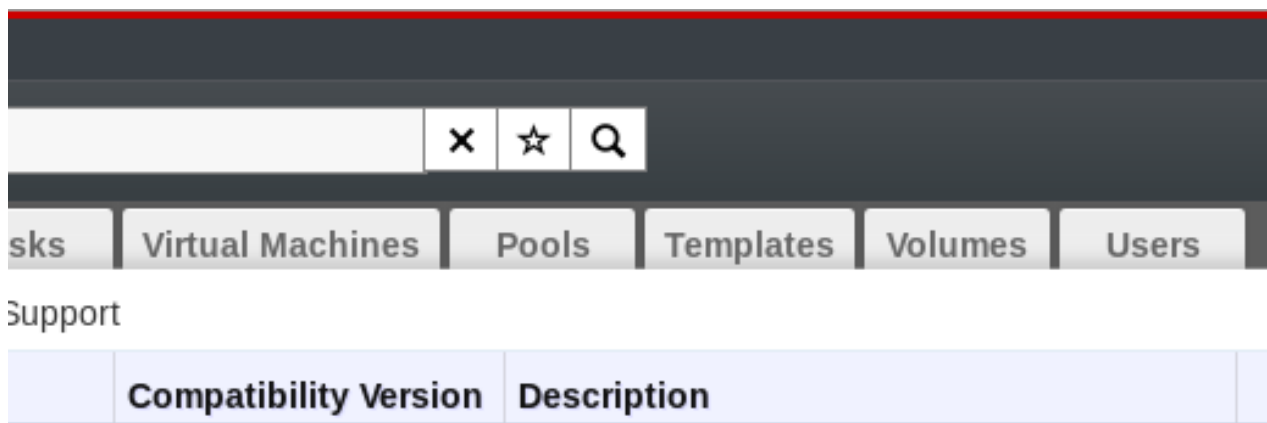


図1.5 ブックマークのアイコン

3. ブックマークの **名前** を入力します。
4. **検索文字列** フィールドを編集します (該当する場合)。
5. **OK** をクリックしてクエリーをブックマークとして保存し、ウィンドウを閉じます。
6. 検索クエリーが保存され、**ブックマーク** ペインに表示されます。

今後再使用できるようブックマークとして検索クエリーを保存しました。ブックマークを検索/選択するには、**ブックマーク** ペインを使用してください。